

岩手県感染症月報

令和2年2月

岩手県感染症情報センター

令和2年2月の概要

- 性感染症
 - ・男性の淋菌感染症が増加しました。
 - ・県内の各保健所において、性器クラミジア感染症病原体検査を無料で実施しています。希望される方は保健所にお問い合わせください。
- 薬剤耐性菌感染症
 - ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が減少しました。

性感染症・薬剤耐性菌感染症（過去5ヶ月間の動き）

※薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から5類感染症の全数報告となりました。（定点当たり患者数）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		10	11	12	1	2		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	2.6	1.27	1.53	2.4	2.27	→
		全国	2.57	2.27	2.33	2.47	2.36	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.2	0.4	0.53	0.13	0.2	→
		全国	0.85	0.78	0.81	0.82	0.76	
性感染症	尖圭コンジローマ	岩手県	0.53	0.33	0.27	0.6	0.6	→
		全国	0.56	0.53	0.49	0.52	0.44	
	淋菌感染症	岩手県	0.2	0.33	0.4	0.33	0.67	↗
		全国	0.68	0.6	0.69	0.79	0.65	
薬剤耐性菌感染症	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	岩手県	1.84	1.89	1.58	1.68	1.47	↘
		全国	2.86	2.81	2.7	2.82	2.65	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	岩手県	0.37	0.26	0.16	0.11	0	→
		全国	0.33	0.29	0.3	0.25	0.21	
薬剤耐性菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	岩手県	0	0	0	0	0.05	→
		全国	0.03	0.04	0.01	0.02	0.02	

（男性）

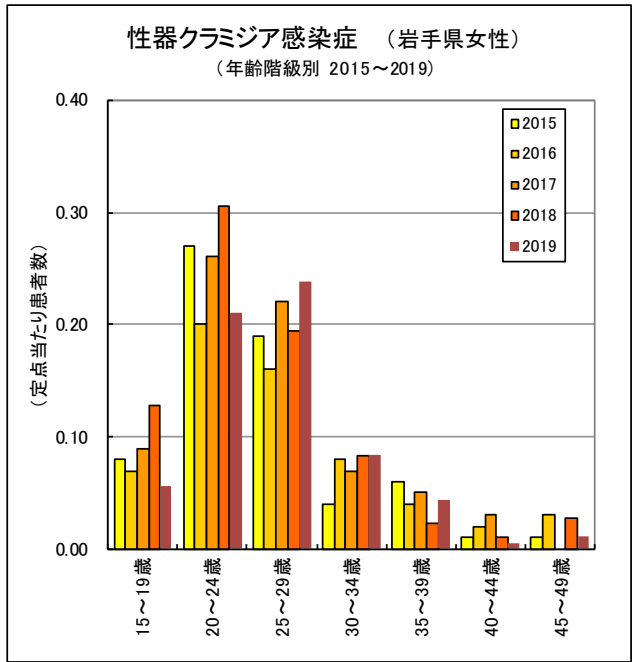
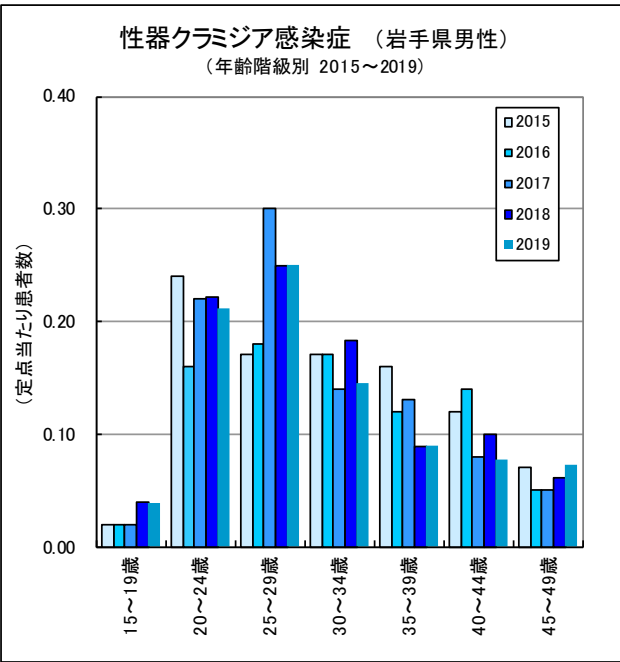
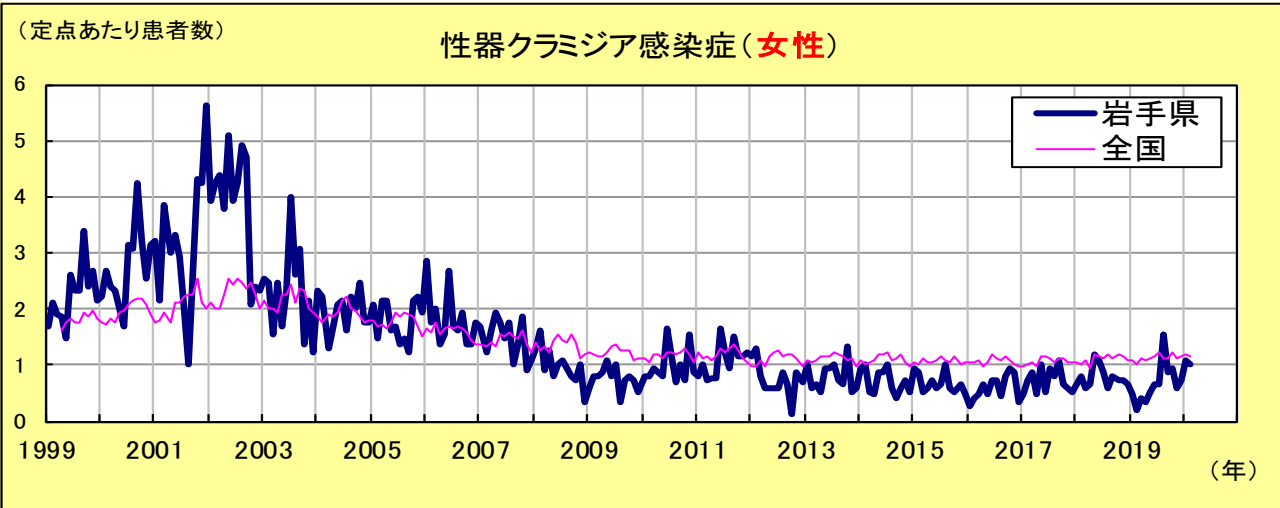
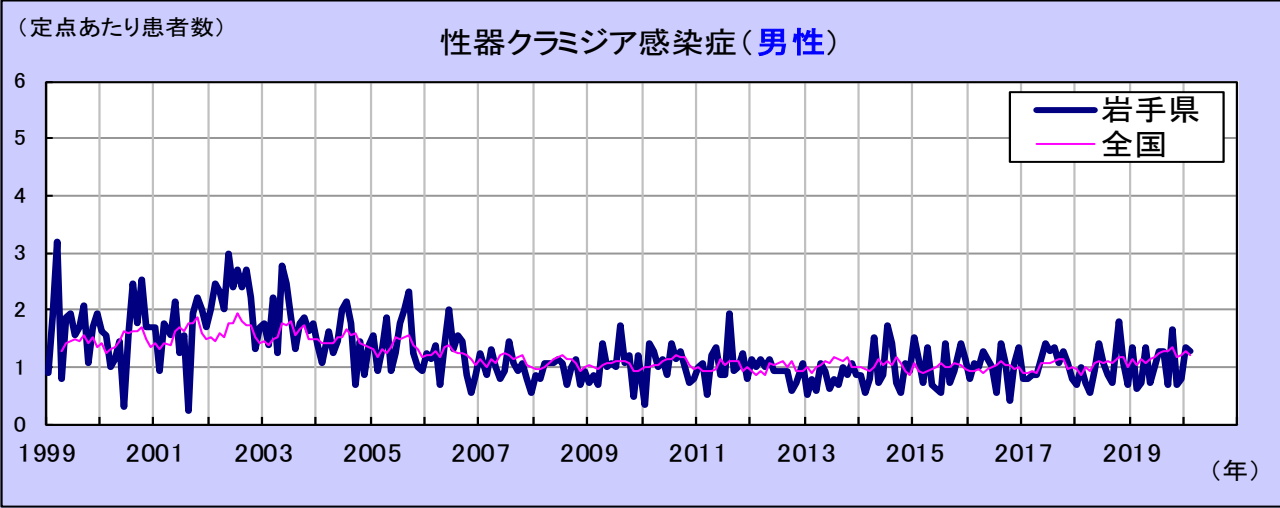
疾病名	地域	月					流行傾向	
		10	11	12	1	2		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	1.67	0.67	0.8	1.33	1.27	→
		全国	1.35	1.17	1.19	1.28	1.22	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.07	0.2	0.07	0	0.13	→
		全国	0.34	0.31	0.33	0.34	0.28	
性感染症	尖圭コンジローマ	岩手県	0.33	0.27	0.2	0.4	0.4	→
		全国	0.38	0.35	0.3	0.33	0.27	
	淋菌感染症	岩手県	0.2	0.2	0.33	0.27	0.53	↗
		全国	0.54	0.45	0.55	0.61	0.49	

（女性）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		10	11	12	1	2		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	0.93	0.6	0.73	1.07	1	→
		全国	1.23	1.11	1.14	1.19	1.14	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.13	0.2	0.47	0.13	0.07	→
		全国	0.51	0.47	0.48	0.48	0.48	
性感染症	尖圭コンジローマ	岩手県	0.2	0.07	0.07	0.2	0.2	→
		全国	0.19	0.18	0.19	0.19	0.17	
	淋菌感染症	岩手県	0	0.13	0.07	0.07	0.13	→
		全国	0.14	0.15	0.14	0.18	0.15	

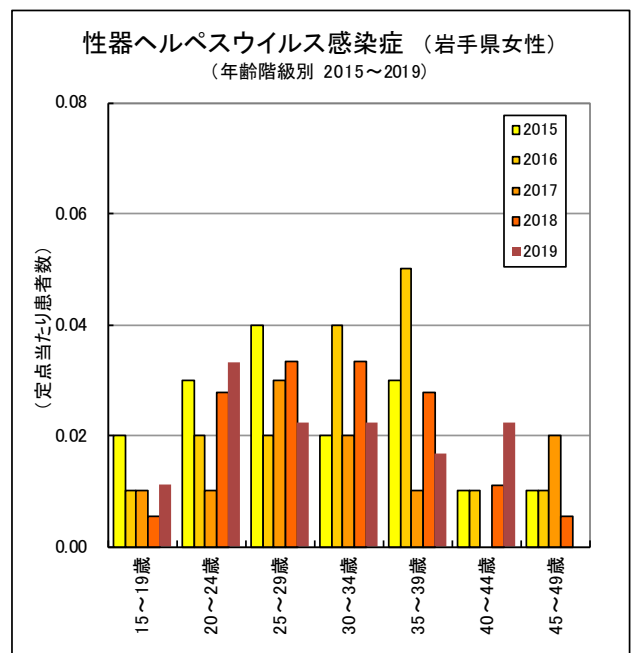
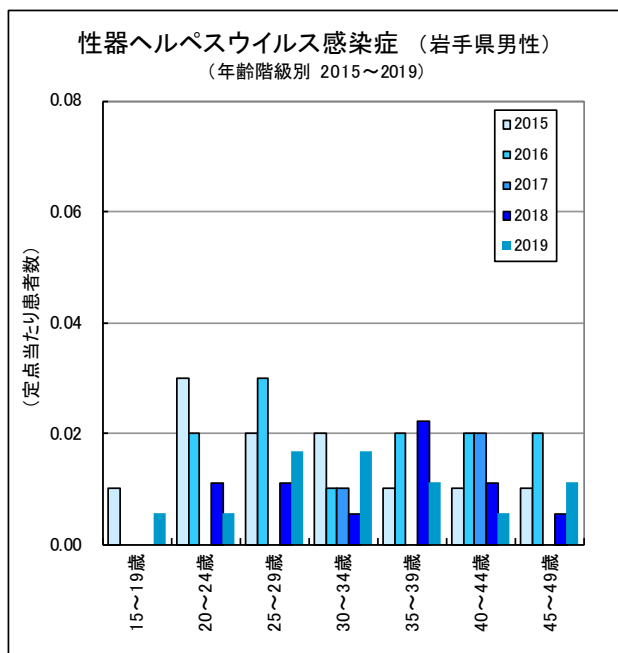
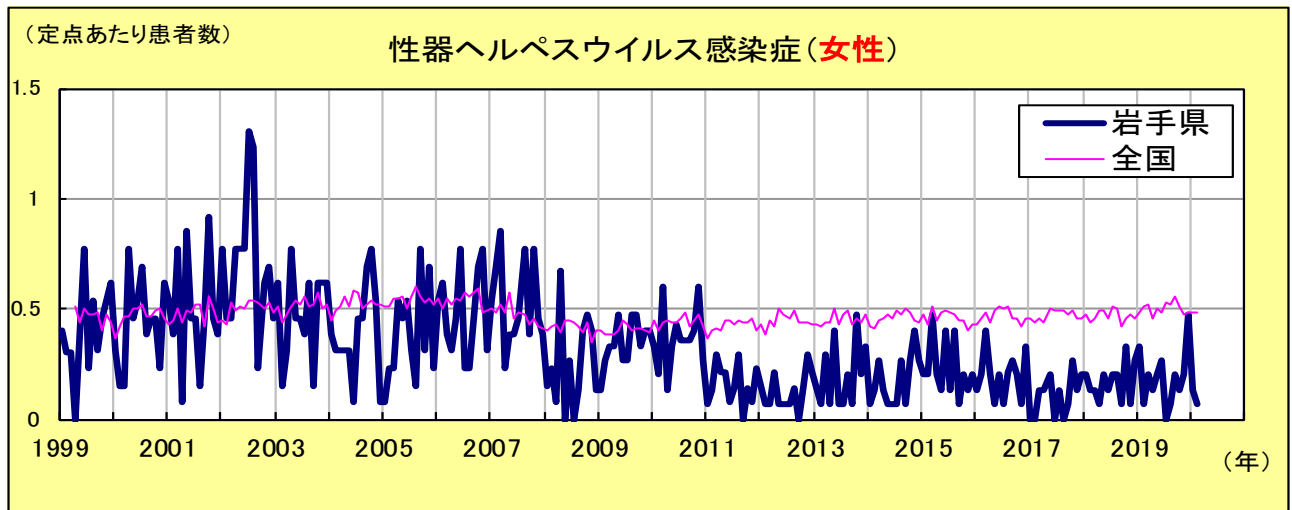
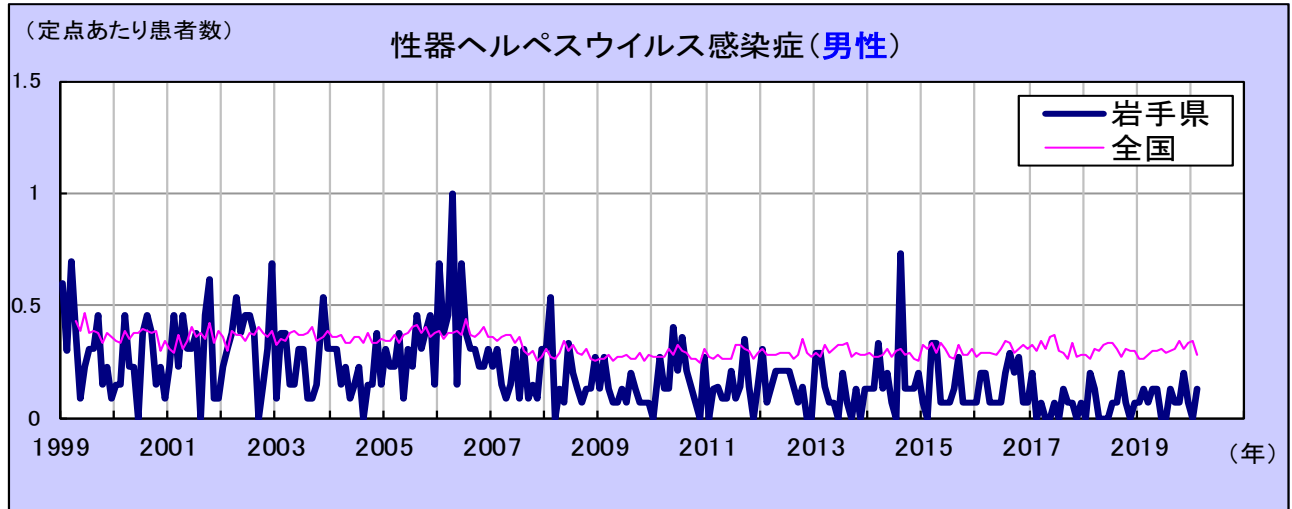
性器クラミジア感染症

男性では20～34歳に、女性では20～29歳に多く報告されています。男女ともに2002年をピークに減少し2009年から横ばいの状況が続いています。



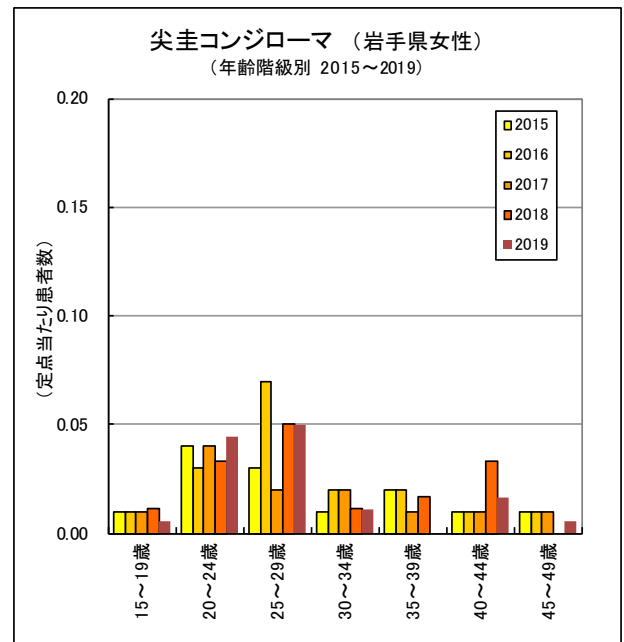
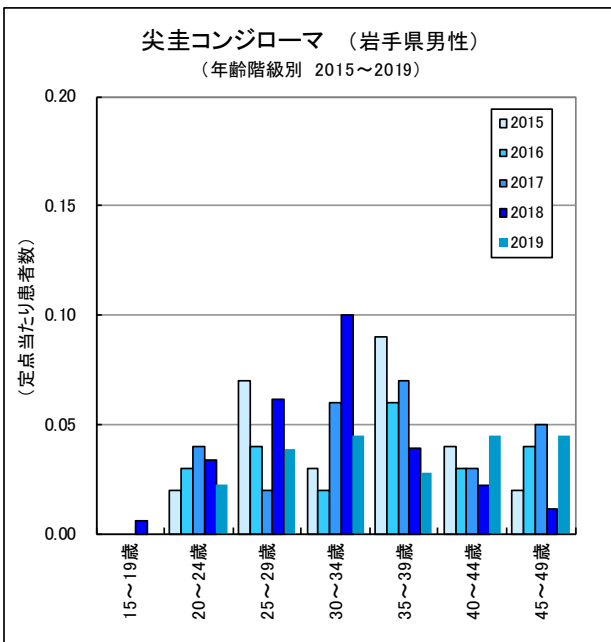
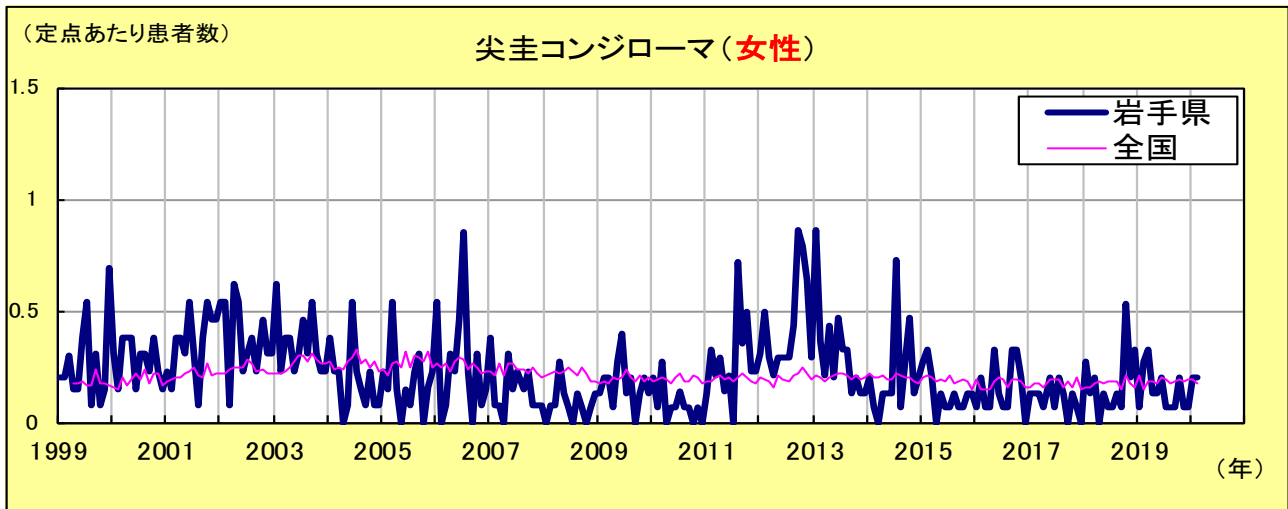
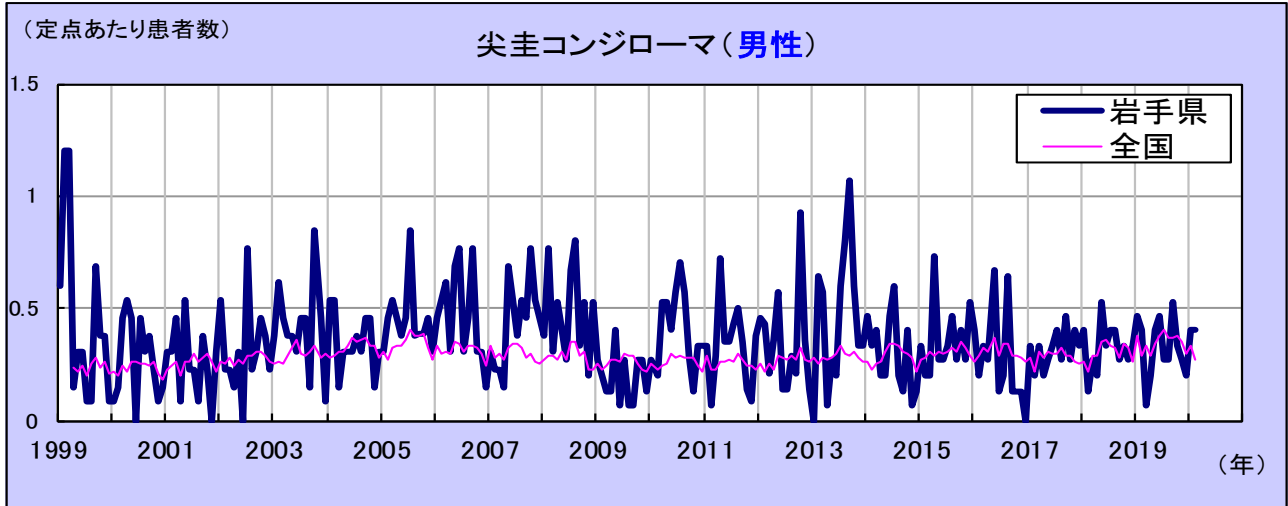
性器ヘルペスウイルス感染症

男女とも、減少傾向にあります。女性は、20～39歳に多く、男性は年齢層による差がなく報告数も少なくなっています。



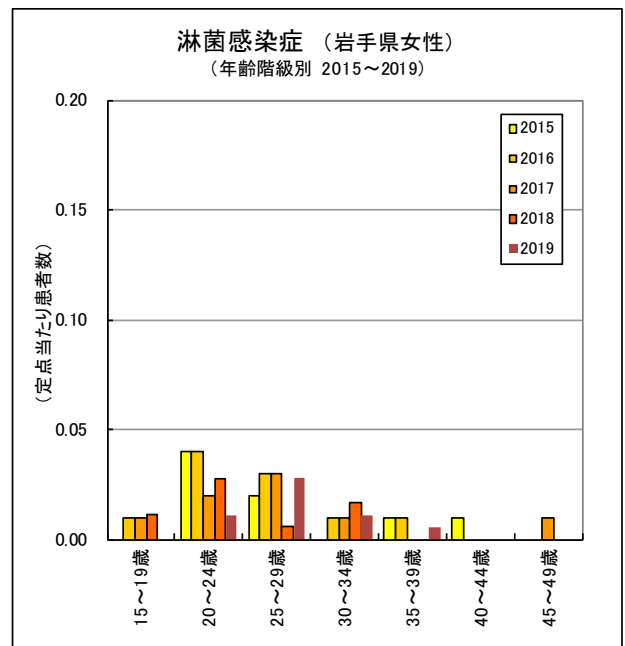
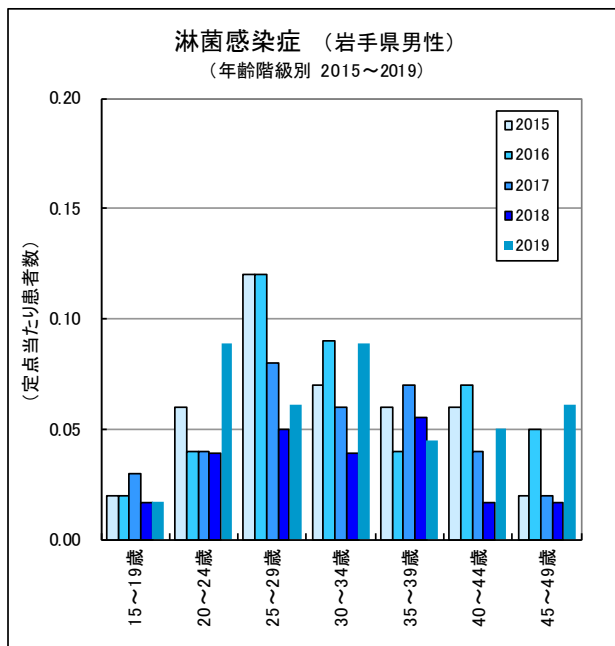
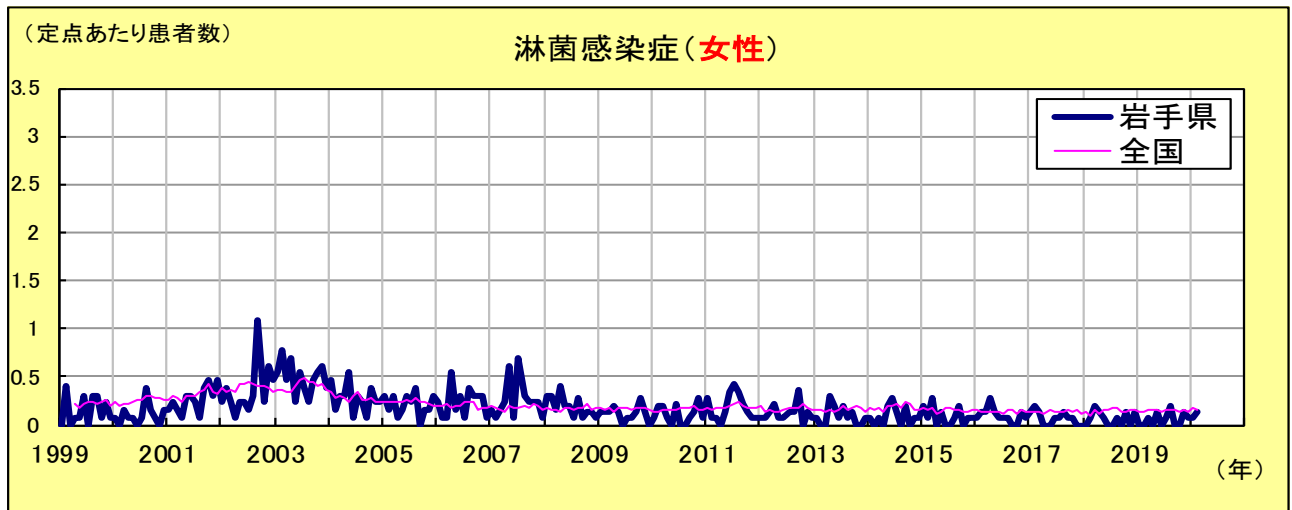
尖圭コンジローマ

男性に比較して女性の報告数は少なく、男女とも減少傾向にあります。男性は25～39歳に多く報告されています。2019年は、男性の40～49歳が前年より大きく増加しました。

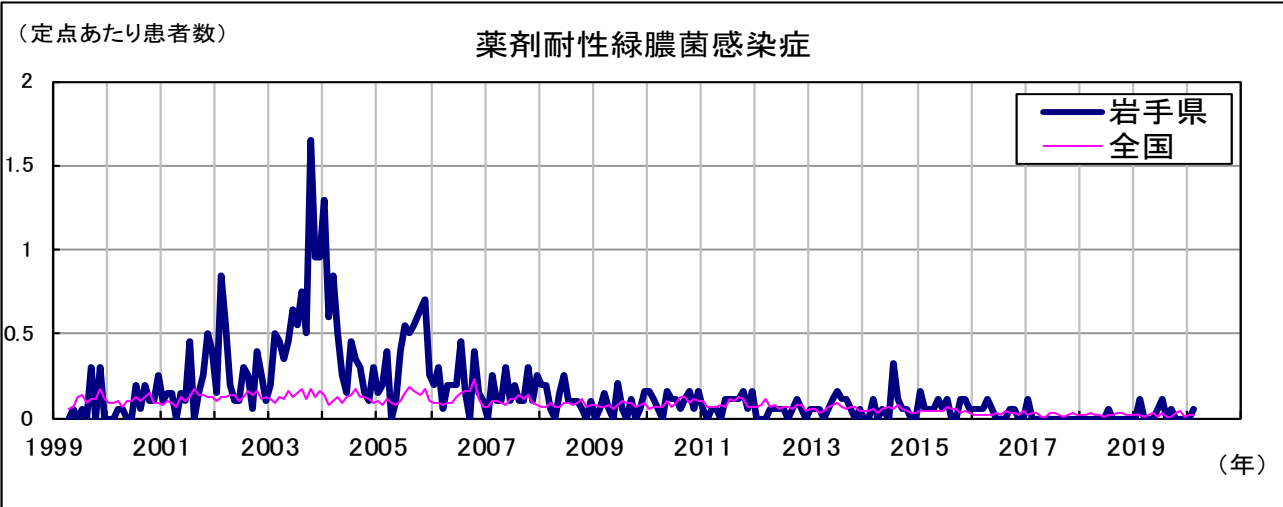
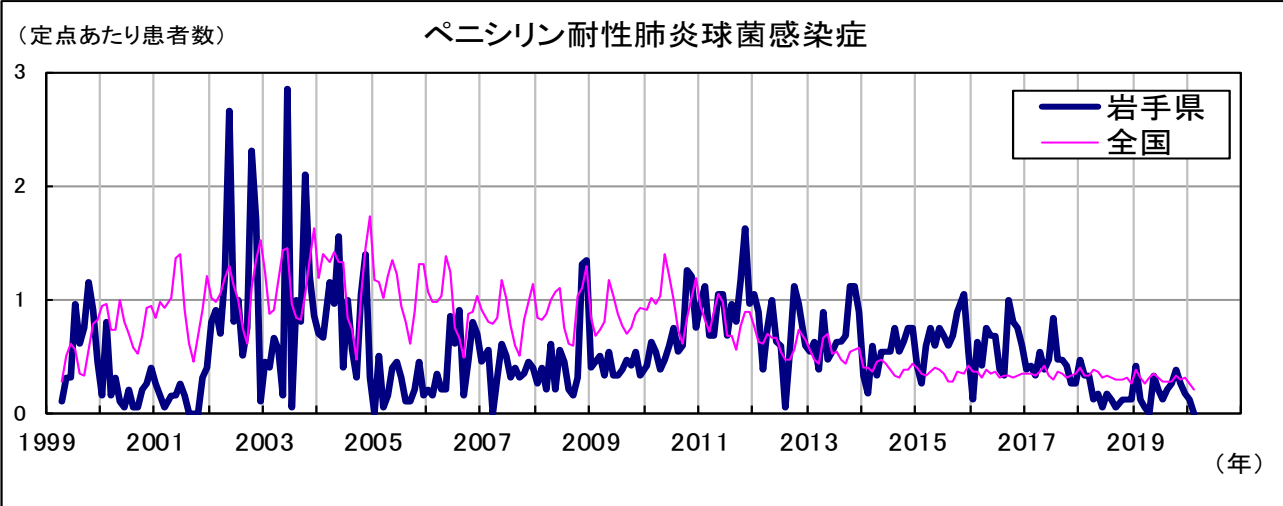
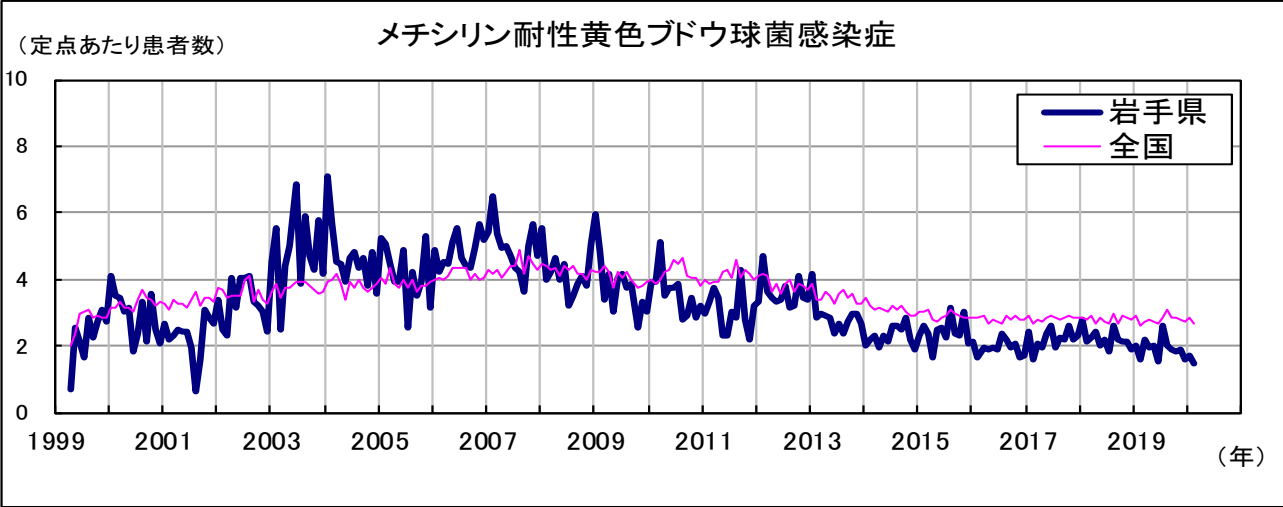


淋菌感染症

男性の報告数は全体的に女性より多く、特に25～29歳で多く報告されています。男女とも減少傾向にありますが、2019年は、男性の20～24歳、30～34歳、40～49歳の年齢層が前年より大きく増加しました。



薬剤耐性菌感染症



病原体検出情報

令和元年10月から令和2年2月まで、県内の病原体定点医療機関等で採取した検体から岩手県環境保健研究センターで分離検出した病原体は下表のとおりです。

月別病原体検出状況

検査結果	10月	11月	12月	1月	2月	計
コクサッキーウイルスA群6型	1	-	-	1	-	2
ライノウイルス	1	-	-	1	-	2
パレコウイルスA1型	1	-	-	1	-	2
インフルエンザAウイルス(H1N1(2009)亜型)	-	7	13	8	12	40
インフルエンザAウイルス(H3)	-	-	1	-	1	2
パラインフルエンザ2型	1	-	-	1	-	2
RSウイルス	1	-	-	1	2	4
サポウイルス	-	-	-	-	1	1
アデノウイルス1型	-	-	-	-	2	2
アデノウイルス2型	-	1	-	1	-	2
アデノウイルス37型	1	-	-	1	-	2
水痘帯状疱疹ウイルス	1	-	-	1	-	2
ヒトヘルペスウイルス7型	-	-	-	-	1	1
パルボウイルスB19	-	-	-	-	1	1
A群溶血性レンサ球菌	-	2	-	-	-	2
レジオネラニューモフィラ血清群1	1	1	1	-	-	3
	8	11	15	16	20	70

病原体検出情報 続き

疾病別病原体検出状況

疾病名	検出病原体	検出数
インフルエンザ	インフルエンザAウイルス(H1N1(2009)亜型)	40
	インフルエンザAウイルス(H3)	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	2
感染性胃腸炎	サボウイルス	1
水痘	水痘帯状疱疹ウイルス	2
手足口病	コクサッキーウイルスA群6型	2
	ライノウイルス	2
伝染性紅斑	パルボウイルスB19	1
流行性角結膜炎	アデノウイルス37型	2
レジオネラ症	レジオネラニューモフィラ血清群1	3
その他	パレコウイルスA1型	2
	パラインフルエンザ2型	2
	RSウイルス	4
	アデノウイルス1型	2
	アデノウイルス2型	2
	ヒトヘルペスウイルス7型	1
	計	70

結核発生動向

結核の発生動向の詳細は、岩手県感染症情報センターのホームページをご覧ください。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/index.html>

無料です!!

岩手の感染症情報をメールで毎週お届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」

を配信しています

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症月報 令和2年2月

令和2年4月24日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/